

## 問題

次の説明文のうち、間違っているものをひとつ選びなさい。

- (a) 停止判定性問題とは、プログラムを実行したときにプログラムが終了するかどうかを判定できるかどうかを考えた問題である。プログラムが終了するかどうかは判定できないことが証明によりわかっている。証明の方法は背理法を用いている。
- (b) 停止判定性問題とは、プログラムを実行したときにプログラムが終了するかどうかを判定できるかどうかを考えた問題である。プログラムが終了するかどうかは判定できることが証明により明らかになっている。証明の方法は帰納法を用いている。
- (c) 停止判定性問題は、証明の中で「停止するかどうかを判定したいプログラム（これを X とする）」を、「停止するかどうかを判定するプログラム（これを Y とする）」に入力として与えて実行する。Y が X を実行した結果が正常終了だった場合は、正常したことを結果として出力する。異常終了した場合には、異常終了したことを出力する。
- (d) 停止判定性問題は、証明の中で「停止するかどうかを判定するプログラム（これを Q とする）」の実行ファイルを、停止するかどうかを判定するプログラム Q に入力として与えて実行する。つまり、Q 自身を Q の入力として実行する。Q が異常終了したなら正常終了したことを、正常終了したなら異常終了したと出力する。